

川崎町北原第二発電所 (川崎町)



NPO 法人川崎町の資源をいかす会では、楽しく豊かな暮らしの実現に向け、川崎町の自然と資源を活かした様々な取り組みを行っています。

東日本大震災を機に、町の豊富な水資源を活用しようと、平成 25 年に北原第一発電所(360W)を建設し、さらに、令和元年 5 月には、北原第二発電所(840W)を建設しました。

第二発電所で発電した電力は、周辺に設置された防犯灯に使用しているほか、併設している粉ひき小屋の動力として活用しています。

また、子供たちの見学を随時受け入れ、地域資源の有効活用やエネルギーの大切さ、水車の仕組みなどについて紹介しています。



発電所外観



水車の回転力を利用した粉挽きの様子



自分で回して発電できるミニミニ水車

所在地	柴田郡川崎町大字前川字北原地先
アクセス	宮城交通川崎営業所徒歩 2 分
エネ種	水力発電 840W
運営主体	特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会
連絡先	TEL: 0224-87-2270
見学の可否	可

株式会社 かみでん里山公社 (加美町)



加美町では、善意と資源とお金が循環する、人と自然に優しい町を目指し、地方創生のイカノエ戦略においてエネルギー自給率の向上を掲げています。その取り組みの一つとして、パシフィックパワー株式会社との共同出資により、平成 30 年に「株式会社 かみでん里山公社」を立ち上げました。

地域内のゴミや木質バイオマスから生まれた電力、町内の太陽光発電所から生まれた電力を調達し、公共施設や地元企業、家庭などに電力を供給しています。

このことにより、エネルギーの地産地消が図られ、町外に流出していたお金が町内で循環するとともに、公共施設等の電気料金も削減されています。また、新電力会社の事業収益の一部は、公園遊具の設置などまちづくりに活用され、地域に還元されています。



太陽光電力を買取りエネルギーの地産地消を実現

地域新電力とは・・・

地域内の再生可能エネルギー発電設備等による発電電力を最大限に活用し、地域内の公共施設や民間企業、家庭等に電力を供給する小売電気事業のことです。

電力の購入先を地域新電力への転換することにより、エネルギーの地産地消を進めるなどのメリットがあると考えられているほか、地方創生や脱炭素化(CO₂排出量の削減)の担い手となることも期待されています。



かみでんからの寄付で設置した公園遊具

所在地	加美郡加美町字西田三番 5 番地
運営主体	株式会社 かみでん里山公社 加美町 120 株 (600 万円) 66.7% パシフィックパワー株式会社 60 株 (300 万円) 33.3%
連絡先	TEL: 080-0800-5084

ひっぼ復興発電所 (丸森町)



住宅に隣接する発電所には非常時に外部電源の供給ができるよう自立電源を配置しています!

ひっぼ電力株式会社では、筆甫地区内において、管理が行き届かず荒廃が進む農地や林地を活用して町内 13 カ所に太陽光発電施設を設置しています。発電した電力はあいコープみやぎ、みんな電力株式会社に売却し、企業や個人の住宅などで使われています。

年間総発電量は地区内全世帯の年間電力消費量に並び、二酸化炭素の排出削減に寄与するとともに、事業の実施においては地元住民の雇用や地域経済の創出に貢献しています。

所在地	伊具郡丸森町内 13ヶ所(令和4年10月1日現在)
エネ種	太陽光発電 計 605.6kW
運営主体	ひっぼ電力株式会社
連絡先	TEL: 0224-86-3801 E-mail: info@hippodenryoku.com
見学の可否	可